

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年4月19日 (2018.4.19)

【公開番号】特開2017-14317(P2017-14317A)

【公開日】平成29年1月19日 (2017.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2017-003

【出願番号】特願2015-129023(P2015-129023)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/17 (2014.01)

B 4 3 K 8/02 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/17

B 4 3 K 8/02 F

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月9日 (2018.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

顔料粒子と、体質材と、凝集分散剤と、凝集コントロール剤と、アクリル樹脂と、溶媒とを含むことを特徴とする、筆記用具用水性インキ組成物。

【請求項 2】

前記顔料粒子が酸化チタンである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記酸化チタンが酸化アルミナで表面処理されたものである、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記凝集分散剤が、多塩基酸のアルキロールアンモニウム塩である、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記凝集コントロール剤がセルロース誘導体である、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記凝集コントロール剤の含有量が、水性インキ組成物の総質量を基準として、0.05 ～ 1.0 質量%である、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記アクリル樹脂の含有率が、水性インキ組成物の総質量を基準として、0.5 ～ 1.0 質量%である、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

粘度が、20、剪断速度  $380 \text{ sec}^{-1}$ 、回転速度  $100 \text{ rpm}$  で  $1 \sim 20 \text{ mPa} \cdot \text{s}$  である、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

20 における粘性指数  $n$  が、0.6 ～ 1.0 である、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 10】

ポリオレフィン樹脂粒子をさらに含む、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 11】

ポリオレフィン樹脂粒子の平均粒子径が、 $0.1\ \mu\text{m} \sim 35\ \mu\text{m}$ である、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

前記ポリオレフィン樹脂粒子の含有量が、水性インキ組成物の総質量を基準として、 $0.01 \sim 10$  質量%である、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の組成物を収容してなることを特徴とする、筆記具。